

JAPAN PAVILION

Intertextile Shanghai「Japan Pavilion」2017 Autumn Edition

【開催概要】

■ Intertextile Shanghai Autumn Edition 2017 開催概要

- ◇ 展示会名： Intertextile Shanghai Apparel Fabrics Autumn Edition 2017
- ◇ 会場： 中国国家会展中心 (National Exhibition and Convention Center (SHANGHAI))
- ◇ 会期： 2017年10月11日(水)～13日(金) 9:00～18:00
- ◇ 主催： Messe Frankfurt (HK) Ltd、中国国際貿易促進委員会紡織行業分会 (CCPIT)
China Textile Information Center (CTIC)
- ◇ 展示会面積： 260,000 m² (2016実績)
- ◇ 出展者数： 4,553社 / 29カ国・地域 (2016実績)
- ◇ 入場者数： 73,000人以上 / 90カ国・地域 (2016実績)
- ◇ 同時開催展： Yarn Expo、PH Value、CHIC 各 Autumn Edition

intertextile
SHANGHAI apparel fabrics



現在の中国は“アパレル製品の供給過剰による流通在庫の増大”や、“市場に一時の勢いが無い”などの声の上る一方、“中国はまだまだ伸ばせる”、“潜在的な成長余力は未だ1番”など、その奥行きに期待する声は依然多い。日本の繊維製品市場は10兆円を切ったと云われているが、それに対し中国は世界最大の45兆円(米国40兆円)規模を誇り、経済成長率も日本の1%未満に対し、中国は5%以上を維持している。世界中の先進国で洋服が売れなくなっている現在、市場規模の大きさと潜在的な成長率を考えれば、今後も中国市場の重要性は増して行くと考えられる。そんな状況の中、今年も10月11日～13日に世界最大の繊維総合見本市 Intertextile 上海 2017 Autumn Edition が開催される。同展の目玉である国際館は今回も Hall6.2 に設置され、Milano Unica (イタリア)、イギリス、ドイツ、ポルトガル、フランス、トルコ等の『サロン・ヨーロッパ』を構成する欧州各国の Pavilion と、規模の点では欧州を遥に上回る韓国、台湾、日本の他、香港やタイ等のアジア勢の Pavilion が集結する。更に、近年動員力を増している『プレミアム・ウール・ゾーン』や、プリント図案の『デザイン・スタジオ』が配置される予定。

■ 『Japan Pavilion』 開催概要

- ◇ 出展場所： 国際館内 (Hall.6.2)
- ◇ 出展内容： ビジネスコーナー+ ジャパン・トレンドコーナー
- ◇ 出展規模： 35社・団体/98小間 (882㎡)
- ◇ 主催： 一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構 (JFW)
- ◇ 後援： 経済産業省 独立行政法人日本貿易振興機構



◆ ジャパン・トレンドコーナー

このコーナーでは、JFWテキスタイルディビジョンが毎シーズン発信するテキスタイルトレンドを紹介します。欧米からのトレンド情報に流されることなく、四季の移ろいによる感性と日本語を大事にした2018秋冬向けトレンドです。今回の設営は“大地とのつながりを表現した”空間で、地層に模したアーチのつながりで外観は大地の経年地層を表現し、中に入ると日本の建築らしい木漏れ日と風を感じるような設計としました。



<テーマ> 概観 前途

黄昏のビギン

十人十色

考古学の謎

妄想リアリズム

◆ 出展企業： (新規出展： 9社・1団体)

* (株)アマテラス、旭化成(株)、(株)アタゴ、宇仁繊維(株)、* (株)エイガールズ、エス・アール商事(株)/東亜合成(株)、熊澤商事(株)、(株)クroppオザキ、ゴード EMB(株)、* コスモテキスタイル(株)、(株)コッカ、齋栄織物(株)、(株)サンウェル、* (株)サンファッション、柴屋(株)、双日ファッション(株)、第一織物(株)、瀧定名古屋(株)、田村駒(株)、(株)チクマインターナショナル、蝶理(株)、帝人フロンティア(株)、同興商事株式会社/ 関客喜貿易 (上海) 有限公司、豊島(株)、日鉄住金物産(株)、* (株)パレモ、前多(株)、村田機械(株)、* モナ・ニット(株)、モリリン(株)、(株)シアン、* 和歌山ニット工業組合<* (株)森下メリヤス工場 / * 吉田染工(株) / * 貴志川工業(株)> / JFW (* 新規出展)



* 写真は Intertextile shanghai 「Japan Pavilion」2017 Spring Edition より

◆新規、復活組は変化する中国市場に挑戦

エイガールズは上海展に5年ぶりに出展します。「以前に比べ、中国市場がどのように成熟したか。出展によって確かめるのが目的」で、反応によって今後の中国戦略を練る考えです。同社は9月上旬に東京でデザイナー向けの18秋冬展を開催。50ブランド以上が来場しました。新商品の「CLOUD」は17・5ミクロンという極細羊毛を原料に、94、48、52番手の糸を作り、毛羽を極力除き、防縮加工を施したもの。カシミアのような肌触りで、深い光沢、ナチュラルストレッチが特徴の素材を出品します。



森下メリヤス工場は和歌山ニット工業組合から出展します。市場調査とともに、和歌山産地ブランドの「WA KNIT」をアピールします。今回は和紙カシミア素材などを提案します。欧州にも輸出しているプレミアム素材で、「中国のアパレルがどう反応するかを確かめたい」と話していました。



パレモはインターテキストイル上海展に10年ほど前に出展しており、復活組です。ウール100%のシンプルでプレーンな素材を出品します。すでに中国市場向けに輸出の実績もありますが、「中国市場環境は変化している。今後の市場を見通すことも出展理由」と語っていました。



コスモテキストイルも復活組です。「中国の高級アパレルは価格ではなく差別化素材を求めている。そうしたハイブランドの顧客を得たい。プラスして来場する欧州のバイヤーに接することができれば」と、新規顧客開拓が目的です。天然素材が中心で、綿を中心にナイロンやポリエステルを絡めて、織りや加工に特徴にある素材を提案します。

サンファッションは2004年に上海現地法人の三發成（上海）国際貿易有限公司を設立。翌年からインターテキストル上海展に出展しましたが、2010年から出展を休止していました。出展によって多くの顧客を得ることができ、取引が定着したことで休止の理由です。しかし、「この間、中国のアパレル業界も大きく変化した。新たな顧客を探すことを目的に再度出展」しました。今回はリバーレース、リボンなどの副資材のほか、エアーガンで染料を吹き付けた加工商品など出品します。

